

第 57 期中央労働講座を受講して

この度、5月27日～5月29日の日程で第57期中央労働講座に参加させていただきましたので、下記のとおりご報告いたします。

1日目は、全港湾の歴史について、講師を鈴木誠一委員長にいただきました。

戦後と同時に始まった全港湾の歴史は今年で81年を迎える。

この81年の歴史をたった1時間程度で理解することは到底不可能であったが

先人たちの闘争があって、今日の全港湾という組織があることを学ばせていただきました。

2日目は、前参議院議員の森屋隆氏を講師に招き、今の日本の政治情勢と今後の行方と題し、労働組合の政治運動について学ばせていただきました。

いかなるものを権力の座につかせるかを決定するのは国民であり、間違いを起こした権力者を権力の座から追い払うのも国民であるとの言葉のとおり

政治への関心と選挙運動の重要性、そして政府と個人の間にある中間組織（労働組合など）の再興が今後の政治に重要であると学ばせていただきました。

次に、松永書記長が講師をして下さり、産別協定と事前協議制度について講義していただきました。

わかっているようで、まだまだ勉強が足りないことを痛感し

先人たちが勝ち取ってきたこの産別協定と事前協議制度を駆使し雇用を守る闘争を今後も続けていかなければならないと、決意いたしました。

3日間を通して、同じ港湾労働者である全国の仲間たちと一緒に学ぶことができ

レクリエーション（ドッジボール）や懇親会で、横の繋がりを強化、団結をより堅いものに出来た今回の講座は、私にとって大変有意義な講座となりました。

この講座で学んだことを、次の世代へ繋げられるよう、さらに知識を深め組合活動に邁進して参ります。

以上

全日本港湾労働組合 北海道地方本部

釧路支部 三ッ輪分会

加々谷 究